第77回日本矯正歯科学会学術大会

ラウンド・テーブル・ディスカッション（RTD）モデレーター申込書

第77回日本矯正歯科学会学術大会

ラウンド・テーブル・ディスカッション（RTD）モデレーター募集要項

※下記の該当する箇所にチェックをつけ、各事項に記入ください。

　自薦（日本矯正歯科学会正会員もしくは日本矯正歯科学会賛助会員の方のみ）

　他薦

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名（日） |  | | 氏名（英） |  |
| 会員区分 | 日本矯正歯科学会会員（正会員、賛助会員）　 その他 | | | |
| 所属（日） |  | | 所属（英） |  |
| 住所（日） |  | | | |
| TEL |  | | FAX |  |
| E-mail |  | | | |
| 略歴（日） | 年月（西暦） | ＊3行以内　西暦利用のこと | | |
| 年　月～　　年　月 |  | | |
| 年　月～　　年　月 |  | | |
| 年　月～　　年　月 |  | | |
| 著者・研究発表等（日） | ＊3行以内　西暦利用のこと | | | |
|  | | | |
|  | | | |

※「著者や研究発表の実績」記載に関しての注意事項

研修会、研究会の記載は不可。地方学会以上の学会で発表した実績を記載ください。

研究実績には日本矯正歯科学会雑誌各地方会誌（例：近畿東海矯正歯科学会誌）に準じる論文などをお願いいたします、

研究実績に本人が主催する講習会などを加えることは不可とします。

現在、終了しているものを実績として記載ください。

略歴および実績の3行以内（3項目以内）を厳守ください。

記入例）

著者：「タイトル」　出版誌名　○年

研究発表：「講演タイトル」　○○学会　○年

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| テーマ | No ． | タイトル | ＊日本語22文字以内 |
| 抄録（日） | ＊200字以内。図・表・写真不可 | | |

※「テーマ」「タイトル」記載に関しての注意事項

次頁に抄録提出に関するチェックリストあり

「テーマ」：募集要項①～⑭のテーマからひとつを選んでください。

「タイトル」他薦の場合は、タイトル例ということでご記入ください。日本語22文字以内

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ＊他薦の場合のみ、下記にご回答ください。 | | | | | |
| 推薦者名 |  | 所属 |  |
| TEL |  | E-mail |  |
| 推薦理由 |  | | |

お問合せ先:第77回日本矯正歯科学会学術大会　運営事務局

TEL：03-5216-5318 FAX:03-5216-5222　E-mail: jos2018@congre.co.jp

※この申込書は第77回大会のウェブサイトの「RTDモデレーター募集要項」からもダウンロード可能です。

URL: <http://www.congre.co.jp/jos2018/>

【学術大会における発表内容に関するチェックリスト】

日本語演題登録（RTDを含み、症例報告を除く）の際は、以下の項目についてチェックを入れてください。発表内容に倫理的な配慮や個人情報の保護について不十分な点があると学術委員会およびRTD委員会が判断した場合、演題採択をお断りすることがあります。

■利益相反

　有

　無

「有」の場合は、関連する企業・団体との経済的利害関係や産学連携活動等について、具体的に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

■所属機関の倫理委員会の承認

　有

　無

　申請中

　該当しない

「有」・「申請中」の場合は、倫理委員会の名称（○○大学研究倫理審査委員会、△△大学病院臨床研究倫理審査委員など）と承認番号（「有」の場合のみ）を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

委員会の名称：　　承認番号：

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

委員会の名称：　承認番号：

■日本矯正歯科学会臨床・疫病研究倫理審査委員会の承認

　有

　無

　該当しない

「有」の場合は、承認番号を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

承認番号：

■被験者（患者を含む）への十分な説明と同意

　有

　無

　該当しない

「有」の場合は、説明文書と同意書の提出を求めることがあります。

■被験者（患者を含む）の個人情報の保護に関する説明と同意

　有

　無

　該当しない

「有」の場合は、説明文書と同意書の提出を求めることがあります。

■「未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」「未承認治療法」に関する発表については、以下の基準をすべて満たしていますか。

　はい

　いいえ

　該当しない

1. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文科省・厚労省）および「日本矯正歯科学会の倫理規定」を遵守していること
2. 安全性と有効性を科学的・中立的に評価していること
3. 倫理上問題のある薬剤・材料・機器を使用しないこと
4. 日本国内外の国・地域の法律に抵触する薬剤・材料・機器を使用していないこと
5. 患者の同意があり、自己責任のもとで未承認薬・材料・機器を使用した場合の発表は可とするが、抄録および発表内容にその旨を記載または説明があること